

<広報の学校>

「入門危機管理広報講座」のご案内

①会場聴講（推奨）、または②ライブ配信（アーカイブ視聴付）から選択できます

— 10月26日（水）10:00～16:00 —

広報の学校
(共同ピーアール総合研究所)

謹啓 貴社ますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。

日本では今年も新型コロナウイルス問題を始め、ハラスメント・過労死問題、品質データ偽装、個人情報漏洩、リコール等が續発し、ますます危機管理の重大さが身にしみる日々が続いています。

一方で『Twitter』『YouTube』『Facebook』といった SNS が危機管理に大きな影響を与えるようになりました。近年、企業を取り巻く環境が激変する中、リスク要因が多様化し、新たな危機に直面するケースが急激に増加しています。企業が危機管理（メディア対応）で失敗し、重大なダメージを被る事例も相次いでいます。

危機管理の巧拙と緊急時のクライシスコミュニケーション（危機管理広報）がブランド維持とダメージ軽減に大きく寄与する重要性が認識されながらも、実際には、では具体的にどうすればいいのかと悩む企業の担当者が多く存在します。

万一、重大事が発生しマスコミが殺到した時の対応はどうすべきか
具体的に緊急時のメディア対応はどうすればいいのか

本講座はこのようなニーズに応じて企業・団体の広報、総務、危機管理の責任者・担当者を対象にした、危機管理の基本と実践的なノウハウを習得する、危機対応能力向上のための講座です。

危機管理の基礎、実務教育の一環としてご参加くださいますようお願い申し上げます。

※当総研では、受講効果を高める視点から「会場受講」を推奨しておりますが、会場受講が難しい方は配信での受講も可能です。「ライブ配信」でのご参加を選択された場合、当日の配信に加え、アーカイブ視聴期間中（1ヶ月）は何度でも繰り返し視聴ができます。

敬具

「入門危機管理広報講座」実施概要

- 対象者 広報、総務、危機管理部門の責任者・担当者
- 本講座の特色
 1. 具体的な事例研究と実践的対策
 2. ソーシャルメディアリスク対応ノウハウの習得
 3. 最近の企業不祥事の傾向（トレンド）と今後の方向性
 4. 危機管理の基本（基礎）から具体的なクライシスコミュニケーション（危機管理広報＝メディア対応）の実務知識、スキルの習得
- 講座概要 詳細はカリキュラムをご覧ください。
- 日時 2022年10月26日（水） 10:00～16:00
- 会場 共同ピーアール セミナールーム（東京都中央区築地 1-13-1 銀座松竹スクエア 10階）

■講師 篠崎 良一（共同ピーアール総合研究所「広報の学校」校長）
磯貝 聡（共同ピーアール総合研究所 主任研究員）

■受講料 45,000 円（消費税、レジュメ代含む）

■申込方法：ウェブサイトページからお手続きください。

⇒ インターネット検索サイトで「共同ピーアール セミナー」と検索し、申込フォームにお進み下さい。

その際、①会場聴講、または②ライブ配信（アーカイブ視聴付）のどちらかを選択し明記願います。

アドレス：<https://www.kyodo-pr.co.jp/seminar>

※お申込み受付け後に自動返信メールにてお申込確認情報が届きます。
※催行人数に満たない場合には、ライブ配信は中止となりアーカイブ配信のみになります。

■申込締切 10 月 18 日(火) 17 時必着

■支払方法 請求書は PDF でお送りいたします。記載のお支払い期限までにお振込みください。

※郵送をご希望の場合には、その旨記載ください。

《振込先》 みずほ銀行(0001) 八重洲口支店(026) 普通預金 口座番号:2677982

口座名義：キョウドウ 共同ピーアール株式会社 グチ セミナー口

●参加方法は2つあります

① 「会場聴講」の方：講座開始 10 分前にセミナールームで受付をお済ませください。

② 「ライブ配信」の方：当日会場に来られずとも、遠隔で講座を聴講できます。

当日ライブを見逃した方は後日、アーカイブ視聴期間(1ヶ月)中であれば視聴可能です。

繰り返し受講されたい方もご活用ください。アーカイブ視聴期間は別途ご連絡いたします。

1つの ID で1ユーザーのみ視聴可能です。(1つの ID で複数の方は受講できません)

●セミナー配布資料(PDF)はダウンロード可能です。

●**お申し込みの前に必ずインターネット環境をお確かめください。**

セキュリティの設定や、動作環境によってはご視聴いただけない場合があります。

以下のサンプル動画が閲覧できるか、事前にご確認の上、お申し込みください。

●テスト視聴サイト

<https://deliveru.jp/pretest5/>

ID livetest55

PW livetest55

※当日に「閲覧できません」旨ご連絡をいただいても、対応いたしかねますので必ず事前にご確認ください。

●推奨環境について

今回の動画配信は、株式会社ファシオの配信プラットフォーム「Deliveru」を利用しています。

推奨環境・ご質問は下記 URL をご参照ください。

◎推奨環境 <https://deliveru.jp/faq/#Q7> ◎よくあるご質問 <https://deliveru.jp/faq/>

<お問い合わせ先> メールでご連絡ください。担当が一両日中にはご返信をいたします。

「広報の学校」事務局 seminar@kyodo-pr.co.jp

〒104-0045 東京都中央区築地 1-13-1 銀座松竹スクエア 10F

「入門危機管理広報講座」カリキュラム

時 間	講義テーマ	内 容	講 師
講座 1 10:00～10:50	危機管理事例研究	「緊急会見でトップは何を発言し、広報はメディア対応をどんな点で苦戦したのか？」 直近で発生した企業の危機事例について、報道内容をもとに分析し、メディア対応のポイントをレクチャーします。 【主な分析項目】 ・会見のトップ発言／報道発表資料（HPなどお知らせ） ・記者とのQAと失言／発言はどう報じられる？ ・混乱する顧客対応と公表姿勢 など	磯貝 聡
10:50～11:00	休 憩		
講座 2 11:00～12:00	SNSリスク対応 (炎上・フェイクニュース)	炎上（影響／拡大プロセス／対応のポイント／未然防止策／炎上対策／電凸対応） 演習（炎上時の広報対応＜コメント作成＞） フェイクニュース（背景／関与者／影響力／コスパのよさ／見破るには）	
12:00～13:00	休 憩		
講座 3 13:00～14:20	危機管理の基本	企業不祥事の5つのトレンド／危機管理の目的／リスクとクライシス／4つのリスク対応／リスク評価／危機管理広報とブランド回復プロセス／なぜ失敗するのか／平常時広報と危機管理広報の違い／プロセス／5つのダメージ／企業批判の三分野／危機管理の基本	篠崎 良一
14:20～14:30	休 憩		
講座 4 14:30～16:00	危機管理広報	危機時の広報担当者の業務／マスコミの企業不祥事への視点／電話対応のポイント／対面取材のポイント／緊急記者会見が必要なケース／緊急記者会見の意味と基本原則／記者会見対応のポイント／避けるべき失言／出席者の注意／コメントの注意／態度／Q & A作成のポイント	

<講師プロフィール>

●篠崎 良一

共同ピーアール総合研究所「広報の学校」校長
広報コンサルタント、危機管理広報コンサルタント、メディアトレーナー



早稲田大学第一文学部社会学専攻卒。出版社（日本実業出版社、ローリングストーンジャパン）を経て、共同ピーアール(株)入社。取締役副社長を経て現職。1993年4月『危機管理広報部門』を創設。2003年5月『広報の学校』を開校。2013年1月『PR総研』を創設。企業・団体の広報・危機管理コンサルティング、広報・危機管理研修担当。危機管理では欠陥商品、リコール、企業不祥事、訴訟問題、企業機密・個人情報漏洩、内部告発、差別・人権問題等、数多くの危機管理実務、クライシスコミュニケーションのコンサルティングを実施。（クライシス）メディアトレーニング、マニュアル制作、危機管理調査も担当。著書に『入門メディアトレーニング』（アニモ出版）、『実践企業広報マニュアル』、『会社を守る！もしものときのメディア対応策』（共にインデックス・コミュニケーションズ）、『広報・PR概説』（共著、同友館）、『広報・PR実践』（共著、同友館）、『パブリックコミュニケーションの世界』（共著、北樹出版）他がある。

●磯貝 聡

共同ピーアール総合研究所 主任研究員



金融専門紙の記者を経て2007年共同ピーアール入社。PRパーソンとして物流、ゼネコン、食品、商社、大学などを担当。品質データ問題、食品異物混入、個人情報漏洩などの危機管理広報コンサルティングを実施。

メディアトレーニングでは、化学・製造業や運輸・鉄道企業をはじめとした各業界で、危機発生時の情報収集、検討、対応、発表までの一連の流れを想定した対策本部トレーニングの企画・運営を担当。

危機発生後の企業では、危機管理体制再構築のための広報対応分析、危機管理広報マニュアルの見直しと作成も実施している。